

洞爺湖町誕生20周年を迎えるにあたって



洞爺湖町 町長
下道 英明

洞爺湖町誕生20周年の記念すべき年を町民の皆さまと迎えられますこと大変うれしく思いますとともに、これまでの町政へのご理解とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

謝申し上げます。

この20年を振り返ると、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからず、加えて早期健全化計画の策定と実践、新型コロナ問題など厳しい状況が続いた中、皆さまには我慢強く対応、協力いただきました。

一方、「洞爺湖有珠山ジオパーク」の世界ジオパーク登録と「入江貝塚・高砂貝塚」が「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として世界文化遺産に登録されたことは、大きな喜びでした。また、去年は箱根姉妹提携60周年、本年は三豊市友好提携50周年を迎え、両市町との強い絆を確認し、様々な多くの応援をいただきました。

今を生きる私たちの使命は、自然・産業・文化にわたる素晴らしい地域資源を将来に引き継いでいくことです。観光・農業・漁業・福祉分野などの各産業基盤の振興に注力し、子育て支援にも積極的に取り組み、持続可能な町づくりを進めてまいります。

2000年有珠山噴火から25年が経過し、様々な災害が全国各地で発生している現状を鑑み、一層の防災・減災体制づくりに尽力してまいります。

このたび20年という節目に記念誌を発行し、旧虻田町、旧洞爺村それぞれの先人が幾多の苦難を乗り越えて創り上げてきた郷土を振り返り、さらなる「洞爺湖町民の誇り」の醸成につながることを切に願っております。

洞爺湖町議会 議長
大西 智



2006年3月に洞爺湖町が誕生し、本年度で20年の節目を迎えます。この20年間、両町村が協力し助け合い、互いの文化を尊重しながら地域の活性化に努め、一歩

一歩歴史を刻んでまいりました。今日まで当町の発展にご尽力賜りました多くの皆さまに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

2008年の「北海道洞爺湖サミット」の開催をはじめ、2009年の「洞爺湖有珠山世界ジオパーク」の認定、また2021年には「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録など、世界に誇れる町の財産を活用し「新町建設計画」や「まちづくり総合計画」を軸としながら、町と歩調を合わせ、地域の活性化に取り組んできたところであります。

一方、2009年に財政健全化団体としての指定を受け、2011年の脱却までの間、建設事業の抑制をはじめ、職員給与や議員報酬の削減など、町民の皆さまのご理解をいただきながら進めてまいりました。

また、2020年1月からの約3年半、全国に蔓延したコロナウイルスにより、就労形態の変化やデジタル化など大きな変革がもたらされました。少子高齢化や人口減少が進む厳しい環境の中、経済情勢の動向も視野に時代の情勢を的確に捉えながら、次世代と共に安心して住み続けられる希望のあるまちづくりを進めるため、議会としても研さんを重ねます。

皆さまの声を町政に反映できるよう努めてまいりますので、これからもご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げ、20周年記念誌発刊のお祝いのあいさついたします。

目次

01	洞爺湖町誕生 20 周年を迎えるにあたって	29	洞爺湖町の中学生が伝えたいコト 未来へのメッセージ
02	新町の誕生まで	33	地域おこし協力隊と考える このまちの未来
03	洞爺湖町町民憲章	37	この町とともに
04	洞爺湖町のデータ	42	他市町との交流
05	洞爺湖町 20 年の軌跡		
25	みんなの未来図		